

令和7年度使用中学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 音楽（一般）

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	音楽 (一般)
----	---------

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
教出	17	音楽 017-72 017-83 017-84	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> ・共通教材のデジタルコンテンツが曲の情景と歌詞を紹介しており、曲のイメージをつかみやすい。 ・楽曲で使用される音楽用語の説明が楽典のページにひもづけられ、わかりやすくまとめられている。 ・日本歌曲における鼻濁音の説明が丁寧である。 ・音楽史の年表が見やすく、他の文化との関連が記されているのがよい。 ・創作分野では言語を生かした内容が多く、導入としてはよい。ただ、和音や和声を習得する内容が、やや少ない。 ・鑑賞分野では資料がやや多く掲載されており、教師側の取捨選択する力量が必要である。 ・構成面で、歌唱・鑑賞・創作のまとまり順で掲載されているが、教習順に掲載されている方が教師側も学ぶ生徒側にとってもよい。 ・表紙は学年ごとに色分けしてあり、デザインがシンプルでよい。しかし、本文は写真やレイアウト、イラストに統一感がなく、ユニバーサルデザインの観点から見ると、やや問題がある。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
教 芸	27	音楽 027-72 027-83 027-84	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びのコンパス」のページを活用することで、生徒が主体的に考えを深め、問題解決の糸口をつかむことができる。 ・合唱の楽譜に伴奏のデジタルコンテンツが添付されており、自主的に練習することができる。選曲がよい。 ・歌唱曲については発声法から楽典、曲の背景などシンプルにわかりやすくまとめられている。 ・「浜辺の歌」が1年で掲載されているが、1年で8分の6拍子の楽曲を習得させることはやや難しい。 ・創作分野は音楽アプリとの連動を想定しており、リズムを遊び感覚で習得でき、かつ実際の音を聴きながら創作を進めることができる。 ・音楽を形づくっている要素の説明が充実している。 ・鑑賞分野ではどのページもシンプルにわかりやすくまとめられ、重要な用語がはっきり表示されており、要点を押さえやすい。日本音楽史が1年で掲載されており、興味をひきやすい。 ・鑑賞曲の掲載が多く、教材の精選が必要である。 ・著作権について、1年段階で掲載されている。 ・写真の内容が適切で、本文のデザインも整理されており見やすい。ただ、表紙は色分けがなく、学年がややわかりづらい。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

音楽（一般）

観点別評価

「◎」 優れている

「○」 標準的

「△」 やや劣る

選定の観点	選定の視点		教出	教芸
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている音楽科の目標達成に結び付く内容になっているか。	○	○
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	○	◎
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	◎	○
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、でじあるコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	○	◎
	6	SDGs など、今日的課題が取り上げられ、生徒が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	○	◎
内容	1	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う工夫がなされているか。	○	○
	2	表現及び鑑賞の活動を通して、〔共通事項〕を身に付けることができるような配慮がなされているか。	○	◎
	3	音楽に関する歴史や文化的意義、生活や社会において音や音楽が果たしている役割を、表現や鑑賞の活動を通して、自己との関わりの中で理解できるような内容となっているか。	◎	○
	4	音楽を形づくっている要素などの働きについて実感を伴いながら理解し、表現や鑑賞などに生かすことができるような工夫がなされているか。	○	◎
	5	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるような内容となっているか。	○	○
	6	音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図るなど、音楽科の特質に応じた言語活動が適切に位置付けられているか。	○	○
	7	我が国や郷土の伝統的な音楽の学習を通して、我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わい、愛着をもつことができるような工夫がなされているか。	○	○
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○
	2	生徒の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	△	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	△	◎
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	○	○
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	△	○